

# 好生館 だより

K O S E I K A N  
D A Y O R I

2019.1

Vol.  
41



地方独立行政法人

佐賀県医療センター 好生館

SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN  
SINCE 1834

〒840-8571 佐賀市嘉瀬町大字中原400番地  
TEL.0952-24-2171(代表) FAX.0952-29-9390  
<http://www.koseikan.jp/>

## [メッセージ]

理事長あいさつ／館長あいさつ……………1

## [好生館ニュース]

看取り普及啓発事業講演会 他……………2

## [診療科の紹介]

血液内科／糖尿病代謝内科……………3

産婦人科／歯科口腔外科……………4

看護部だより……………5

救命救急センターの紹介／集中治療部の紹介／感染制御部だより……………6

共同利用病床登録医療機関のご紹介……………7

患者・家族総合支援部だより……………8

お仕事の話／医療安全管理部だより／事務部だより……………9

イベント案内／お答えします……………10

外来医師一覧表……………11





# Message

—メッセージ—



理事長 あいさつ

## 医師の働き方改革

「24時間戦えますか」という歌詞で始まるCMソングを覚えていますか。このCMソングがテレビに流れ始めたのは平成元年。その当時、日本人の大部分は労働時間の長さを誇りとし、夜遅くまで働くことを美德とさえ考えていました。時代は変わり、長時間労働を抑制する「働き方改革」が進められています。日本社会の抱える根本問題の一つである少子高齢化問題を解決するため、働き方の改革がその第一歩になると考えられるようになったからです。そして、その「働き方改革」の対象となる最終集団の一つとして医師の問題が取り上げられています。

理事長 桐野 高明

1990年代以降、患者権利の尊重、医療安全の重視の考え方に沿って、医療改革が進められてきました。そのため、必要なさまざまな業務が増えてきました。その多くの部分を医師が分担することになったのです。その結果、以前より過重な状態であった医師の勤務はますます過酷になってきました。良質の医療が持続的に提供されるためには、患者権利と医療安全が重視されると同時に、医師の過酷な勤務を改善し、健康に働き続けられる条件を整えることが必要です。医師の働き方の改革が必須であることは、衆目の一致するところでしょう。

ただ、良質の医療の提供のためには、医師の長時間勤務が避けられない状態にある日本の多くの病院にとっては、容易ならざる改革です。ある程度時間をかけ段階的に改革を進め、よい制度として定着していくことが重要だと思えます。

館長 あいさつ

## 好生館は多くの外国人患者を受け入れています

訪日外国人年間2000万人時代を迎え、かつ留学生など在外外国人の増加を踏まえ、外国人患者受け入れのための医療体制整備が急務となっています。好生館は、昨年厚生労働省の外国人患者受入体制整備支援病院に採択されて補助金をいただき、院内表示の多言語化、ホームページの多言語化、外国人患者への領収書等発行のための医事システムの改修、多言語対応ツールの導入、名札の多言語化などを行いました。現在までにバングラデシュ、中華人民共和国、フィリピン、アメリカ合衆国など世界中の国々の人々に対して外来ならびに入院診療を行っており、その数は毎年400~500人に上ります。



館長 兒玉 謙次

今後も入国管理法の改正により益々外国人患者の増加が見込まれるため、受け入れ体制の更なる充実が必要となります。好生館は外国人患者受入れ医療機関認証制度に則り、今年2月に日本医療教育財団の訪問調査を受け、外国人患者受入れ医療機関として認証されるよう準備を進めています。私たちは、県民の皆様は言うに及ばず、外国人に対しても最良の医療を提供するために職員一丸となって邁進して参りますので、今後ともご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い致します。

## 看取り普及啓発事業講演会 「老衰での最期は平穏死」を 開催しました

緩和ケアセンター  
介護支援専門員 鬼崎 真澄

10月13日好生館で、芦花ホーム常勤医師の石飛幸三先生に、「年を取って体の機能が衰える老衰は自然な事。無理な医療行為で延命を図るのは、医者も家族も責任逃れではないだろうか。生に寄り添い、死に思いをはせながら看取る。そういう社会のシステムを作り上げる必要がある。」とご講演いただきました。

聴講者からは、自分の家族や自分の死について考え、最期まで精一杯生きようと考えたとの意見が多く寄せられました。



## 平成30年度 自衛消防訓練を実施しました

総務課 庶務係 牛島 卓也

10月26日に、佐賀広域消防署職員の立会いのもと、3階西病棟を火元とする自衛消防訓練を実施しました。病棟では、実際に火災発生確認から初期消火活動や避難完了までの一連の流れを体験し、万が一の際の対処方法を改めて確認することができた有意義な訓練となりました。また、消防からも当館スタッフの対応にお褒めのお言葉をいただきました。これからも火災時に慌てることなく万全の体制を維持するため、引き続き訓練を積み重ねていきます。



## 「日本健康・栄養システム学会 九州地方会」開催！

副館長・  
栄養管理部長 佐藤 清治

11月23日にアバンセホールにて、上記第16回九州地方会を開催しました。『栄養管理における連携』をテーマに100名以上の参加者があり、シンポジウムでは白熱した討論が交わされました。また、特別公演では島根県における極めて有用な全県下医療情報ネットワークシステム(まめネット)を用いたNST活動の紹介に驚かされ、さらに有田柿右衛門窯の絵付師である館林氏による「有田焼創業400年」のお話はとても印象的であり大好評でした。



## 病理解剖体慰霊式を執り行いました

総務課 庶務係 末次 愛

病理解剖にご協力頂いた方々を対象にした慰霊式を、12月14日にしめやかに執り行いました。

病理解剖は、病気の原因や死亡に至った原因を究明し、今後の医療の進歩と発展には欠かせないものです。当館では毎年、病理解剖にご協力頂いた方々に対し、心からの敬意と感謝の意を表し、慰霊式を行っています。

ご親族もご一緒に参列され、今年度は19御霊を慰霊いたしました。





血液内科

## 非血縁者間造血幹細胞移植 Low Volume Centerに認定されました

血液内科部長 近藤 誠司



造血幹細胞移植は、白血病などの血液疾患患者の治療へとつながる治療の一つです。2016年3月15日、当科は日本造血幹細胞移植学会より非血縁者間造血幹細胞移植Low Volume Centerに認定され、佐賀県唯一の骨髄バンク<sup>※1</sup>および臍帯血バンク<sup>※2</sup>からの造血幹細胞移植が可能な施設となりました。

造血幹細胞移植のドナー（提供者）は血縁者が第一優先ですが、血縁者（主に兄弟、姉妹）のHLAと呼ばれる白血球の型が完全一致する可能性は1/4で、非血縁者ドナーの骨髄（末梢血）または臍帯血バンクからの臍帯血の提供が大切な役割を担っています。

当科では2018年から非血縁者間造血幹細胞移植が本格的にスタートし、骨髄バンクからの移植4例、臍帯血バンクからの移植6例（複数移植を含む）の計10例の移植が施行されました。善意の方々の提供によ

り、白血病などの血液疾患患者において更なる治療への道が広がってきています。

また、2018年10月1日からは九州随一の移植施設である浜の町病院から飯野忠史先生が赴任し、更なる移植医療の充実が期待されます。

- ※1 骨髄バンク／現在18歳から54歳までの49万人の健康な方がドナーとして登録され、善意の骨髄提供により日本全体で年間1000人を超える移植が行われています。
- ※2 臍帯血バンク／出産の際にお母さんのご協力提供していただいた8000を超える臍帯血が全国11カ所のバンクに冷凍保存されています。



糖尿病代謝内科

## 好生館全体で糖尿病患者さんの治療をサポートしています

我が国における糖尿病患者の数が1000万人を超え、好生館で高度な治療を受ける様々な疾患の方に糖尿病の合併を認めることが多くなりました。糖尿病と癌、感染症、認知症、歯周病、そして網膜症や腎症との関連は広く知られるところです。しかし、限られた糖尿病専門医で病院全体の管理を行うことには限界があります。そこで、平成30年にICTを活用した血糖・インスリン管理システムを導入し、病棟以外の手術室、外来からでも瞬時に血糖値が分かり、即座に対応できる体制となりました。その一方で、好生館の基本理念に沿った患者さんの病気や治療に関する悩みなど心のケアに関しては、看護師を中心とした専門スタッフがこれまで以上に邁進しています。



糖尿病代謝内科部長 吉村 達

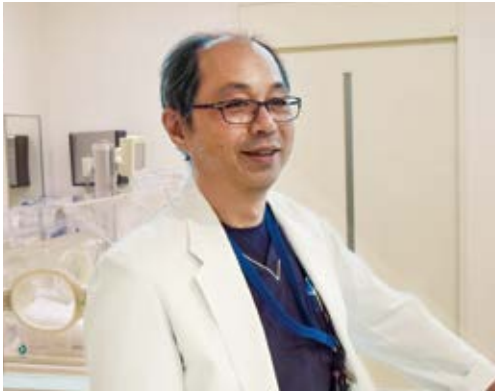


かかりつけ医と好生館との架け橋となるコーディネート看護師も6名まで増員されました。これからさらに連携の輪が広がることにより、佐賀県民の皆様の医療に対する安心へと繋がれば幸いです。

## 産婦人科

## 癌の手術も腹腔鏡で!

婦人科部長 安永 牧生



や疲労も少なく、多くの患者さんが術後4日目には退院され自宅で普段通りの生活をされています。何より女性にとって嬉しいのは、傷が目立たないことだと思います。もちろん病状、大きさによっては腹腔鏡手術ができないこともあります。手術が必要な時には一度ご相談ください。

腹腔鏡は、もともと不妊症検査のために始まりました。当初は腹腔内の観察や癒着の剥離、採卵など簡単な処置が目的でしたが、消化器外科領域で胆嚢の摘出が腹腔鏡で始まった後に急速に手術適応が拡大しています。婦人科でも卵巣の良性腫瘍から始まり、子宮全摘、筋腫核出術なども今では腹腔鏡で行うことができます。最近では子宮悪性腫瘍(子宮体癌、子宮頸癌)も保険診療による腹腔鏡手術が可能となりました。

当院では以前より良性疾患を手がけておりましたが、2016年12月より子宮体癌に対する腹腔鏡下手術を開始いたしました。開腹術では、お臍をまたぐ15-20cmの傷での手術でしたが、1-2cmの傷4箇所での手術が可能になりました。術後の痛み



## 歯科口腔外科

## 周術期口腔機能管理と医科歯科連携

当科は、新規開設以来5年半が経過しました。外来紹介患者は毎年増加し、昨年度は新患数が2200件に達しました。新規受診は原則として医療機関からの紹介による予約制ですが、昨年夏ごろからは予約が満杯で数週間の待ちが生じております。紹介していただく医療機関の先生方には早めの連絡をお願いしています。現在、新患の多くは歯科医院からの紹介ですが、これからは医科との連携に力を入れていきます。しかし、現在の設備と人員では対応しきれませんので、外来の拡充と歯科衛生士の増員を要望しています。特にがん患者の周術期口腔機能管理を中心とした医科歯科連携を推進することは、好生

歯科口腔外科部長 野口 信宏



館全体の診療の質の向上と診療の効率化に貢献します。また、医科歯科病診連携のシステム作りを行うことで地域医療にも貢献したいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。





## 職員のための「ボディメカニクス研修」

この研修は、看護師が身体力学を活用する技術を学び、効果的で自らの身体の安全に配慮した動作ができることを目的とし、働き方改革の一環として企画しました。当院の理学療法士2名を講師に迎え講義や演習を行い、「患者さんの動作能力を知る」「用具の選択と正しい使い方」「介助者の人数、距離や立ち位置」など正しい移乗介助を学び実践する内容でした。また、受講生が学んだことを部署で伝達講習も行いました。日常頻繁に行う移乗介助は、看護師の身体的負担を軽減する技術が必要であると実感した研修となりました。



## 小児病棟クリスマス会



今回は、親子や子ども同士、スタッフが一緒に楽しめる手作りのクリスマス会を企画しました。当院では経験豊かな保育士を採用し、季節的行事を入院生活の中に取り入れています。子どもたちは保育士からはさみの使い方やリボンの結び方の手助けを受け、オリジナルなクリスマスリースや写真フレームを作成しました。その他にもパネルシアターや医師のサンタクロースからのプレゼント等、たくさんの催しがありました。時間が過ぎても楽しむ姿が見られ、子どもたちから「まだやりたい」と声もあり、御両親、スタッフにも笑顔があふれていました。



救命救急  
センター  
の紹介

## 今こそ、好生館の底力を示すとき

救急科は医師不足により、今年度から金・土などの夜間診療を他科の先生方2名で賄っていただいております。当初、いろいろと危惧されておりましたが、お陰様で順調に運営されております。

好生館は、地域の救急医療のみならず、広域の災害医療も担う責務を負っております。また、原発立地県としての原子力災害医療も然りです。災害は、救急医だけで対応できるものではありません。救急医不足というピンチをチャンスに変えて、本来の好生館の底力をお示しできれば、と考えております。

救命救急センター長  
平原 健司



集中治療部  
(ICU)  
の紹介

## 好生館 ICU－佐賀県医療の最後の砦－

ICUは、8床で呼吸管理、循環管理、血液浄化など幅広い領域で治療を行っています。佐賀県内の他の施設とは異なり、専従の集中医療専門医2名が他科の協力を得て24時間体制で診療にあたっています。また、看護師も31名体制で充実した質の高い看護を提供し、感染制御部、薬剤部、リハビリセンター、栄養管理部などとチーム医療を実践しています。治療成績は良好で、特に敗血症の治療に関しては全国有数の救命率を誇っています。

今後も、入室された重症患者に対して高度医療を行い「佐賀県医療の最後の砦」として精進してまいります。

集中治療部長  
三溝 慎次



## 感染制御部 だより

## インフルエンザと異常行動

インフルエンザの流行シーズンになりました。インフルエンザの患者さんでは、抗インフルエンザウイルス薬の服用の有無や種類にかかわらず、「急に走り出す」「徘徊する」「飛び降りる」などの異常行動が発現することが知られています。異常行動の発現は発熱から2日以内に多く、就学以降の小児・未成年者の男性で多く報告されています。

感染制御部長  
福岡 麻美



保護者の方は、発熱から少なくとも2日間は、就寝中を含め、小児・未成年者が1人にならないように配慮し、玄関や窓に施錠する、ベランダに面していない部屋や、1戸建ての場合は1階で寝かせるなどの対策をお願いします。





院長先生への Q & A ①アピールポイント ②モットー ③趣味、休日の過ごし方 ④座右の銘 ⑤医師を目指した理由

医療法人 えとう内科・循環器内科

病院 DATA

■〒840-0804  
佐賀県佐賀市神野東 4 丁目 3-19  
■TEL 0952-33-8177

■診療科：内科・循環器内科  
■開業：昭和 59 年 8 月 1 日  
■院長：江頭 泰博



**A** ①外来レベルで必要な循環器系検査はほとんど実施可能で、長時間心電図も完備。指導士（高血圧・循環器病予防療養指導士、佐賀糖尿病療養指導士）の資格をもったスタッフもいます。

- ②患者さんの声に耳を傾け、少しでも長い健康寿命を過ごすことができるように伴走していきます。
- ③家族と旅行。最近、キャンプと登山をはじめました。
- ④継続は力なり。
- ⑤医師である父の後ろ姿を見て。

「スタッフより」患者さんにもスタッフにも変わらず丁寧で親切な、みんなに慕われる優しい先生です。



院長先生から一言

患者さんが、病識を持ち、やる気になるように、分りやすい説明を心がけています。

さとうクリニック

病院 DATA

■〒840-2205  
佐賀県佐賀市川副町南里 372-1  
■TEL 0952-45-8000

■診療科：内科・外科・胃腸科・整形外科・リハビリテーション科  
■開業：平成 8 年 4 月 12 日  
■院長：佐藤 智丈



**A** ①24 時間支援診療所として地元に着しています。在宅医療に積極的に取り組み、施設など多職種と連携しながら看取りまで行っています。胃・大腸内視鏡検査もしかるべく迅速に施行しています。

- ②優しく、質の高い医療に向かってベストを尽くす。
- ③油絵、ギター、マラソン。昨年 12 月には 5 年ぶりにフルマラソン 4 時間を切りました。
- ④ベストを尽くす。
- ⑤当初は早稲田大学の工学部へ進みましたが、長く続けられる仕事をしたいと思い医師になりました。人の役に立つのが目に見えること。健康に興味がありました。



「スタッフより」いつも患者さま、スタッフに垣根なく接しております。先生の 1 日は 48 時間あるのではないかと考えるほどアクティブに動かれています。

院長先生から一言

外来で疑問に思った症例は、できるだけ早く専門医に紹介することを心がけています。禁煙指導に取り組み、学校などで講演も行っています。

医療法人朝霧会 じんの内医院

病院 DATA

■〒842-0017  
佐賀県佐賀市新郷本町 24 番 3 号  
■TEL 0952-24-2225

■診療科：内科・腎臓内科・泌尿器科・皮膚科  
■開業：昭和 54 年 (40 周年)  
■院長：陣内 謙一



**A** ①腎不全の増悪を防ぎ、透析への進行を防ぐ。  
②患者さんへの傾聴、患者さんの言うことをよく聴くこと。

- ③ゴルフと謡曲。休日の過ごし方は、旅行や読書など。
- ④「平静の心」いらいらしないで、いつも冷静。
- ⑤病める人へのお手伝いをしようと思ってめざしました。

「スタッフより」患者さん想いの先生で、優しくふんわかされています。



院長先生から一言

慢性腎臓病 (CKD) の増悪予防と透析導入の遅延を目標に、CKD 教室を年 4 回開催し、教育入院も行っています。糖尿病性腎症による合併症の軽減に少しでも役立てばと思っております。



## 患者・家族総合支援部だより

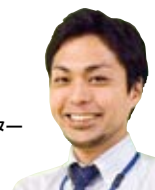
## 入退院支援センターだより

## 第57回緩和ケア症例検討会を開催しました

10月10日に第57回緩和ケア症例検討会を開催し、館内外より61名の参加をいただきました。前半は「グリーンケア」をテーマにグループワークを行い、後半は緩和ケア科部長の小杉医師よりACP(アドバンスケアプランニング)についての講義を行いました。参加する中で、「グリーンケア」は1対1での関わりではなく、患者に関わる

全ての人がチームとなって関わる必要があると感じました。次回は2月13日に開催予定です。テーマは未定ですが小杉医師のACPについての講義は継続して行っていく予定です。是非ご参加いただき、地域の多職種の皆様と繋がる機会にしていだければと思います。

入退院支援センター  
主事  
原田 健作



## がん相談支援センターだより

## 「がんと向き合い療養する」を支える、二つのシンポジウムを開催しました

10月30日、「ダイアログカフェ～闘病記を手にしてみよう～」を当館で開催しました。がん診療連携拠点病院と佐賀県の共催で、波多江伸子先生の特別講演と、患者さんを中心としたシンポジウムを開催しました。闘病記を読み、前向きに生きようと思った体験や、確かな情報を得ることの重要性が語られました。移動図書やNPO法人わたしのがんnetの皆様の協力を得て、想いを語る和みの場となりました。

11月19日、前隆男副館長の進行で、乳腺外科 白羽根部長、理・美容師、行政、NPO法人等が、患者さんの声を聴

き、それぞれの立場でアピアランスケアを語るシンポジウムを開催しました。今後の専門職間の新たな学びや取り組みの契機となりました。

相談支援センター  
係長  
大石 美穂



## 地域医療連携センターだより

## 第13回 県民公開講座を開催しました

11月17日、当館において県民公開講座を開催しました。今回は「教えて！骨粗鬆症～寝たきりにならないためにできること～」と題し、当館の整形外科医及び薬剤師、管理栄養士、理学療法士が講演を行いました。当日は30代から90代まで幅広く、185名の方々に参加いただきました。参加型企画では、骨密度測定、体組成測定、ロコモ度テストを用意し、整理券をもたれた方々に、体を動かしながら楽しく測定していただきました。当館1階で行った各相談コーナーも大変盛況でした。多くの方々の参加により、大変充実した県民

公開講座を開催することができました。ありがとうございました。

地域医療連携センター  
係長  
泉 かおり



知っていますか

# お仕事の話

## その4 『臨床検査技師』 安全な輸血医療のために

私が担当する輸血検査には、血液型、不規則抗体、交差適合試験等があります。安全な輸血を行うために重要な検査で、休日・夜間の緊急検査にも対応しています。

また、製剤関連業務として、輸血用血液製剤(赤血球・血小板・血漿)とアルブミン、自己血、造血幹細胞の調整・保管・管理等を行っています。その他、自己血採血や移植時の介助も行います。輸血は危険を伴う医療行為のひとつなので、医師・看護師とともに

臨床検査技師  
牛島 浩子



厳密なチェック体制を取っています。

2017年には、私を含め輸血担当技師2名が認定輸血検査技師の資格を取得しました。今後も輸血の適正使用と安全性向上に努めてまいります。



## 医療安全管理部だより

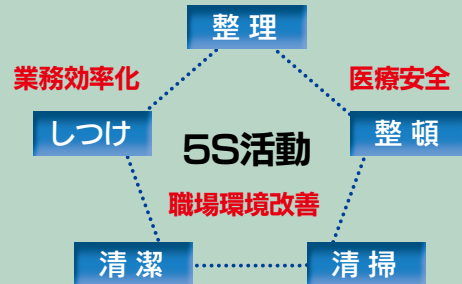
### 5S活動は医療事故の防止に繋がります

5S活動とは「整理、整頓、清掃、清潔、しつけ」を組織が全員参加で取り組んでいく活動のことです。病院内ラウンドをすると、良く整理・整頓されている部署とそうではない部署がある事を実感します。整理とは必要なものと不要なものを分け不要なものを捨てることで、整頓とは必要なものがすぐ取り出せるように置き場所・置き方を決めることです。整理・整頓をすることで業務効率が向上し職場環境が改善します。さらに医療事故を未然に防ぐ効果があ

医療安全管理部長  
内藤 光三



ります。全職員で5S活動に取り組み、働きやすくそして安全な好生館にしましょう。



## 事務部だより — 理事室 —

### 特別企画セミナーを開催しました

11月15日(木)、当館多目的ホールにおいて特別企画セミナーを開催しました。

講師に、国立国際医療研究センター国府台病院名誉院長 上村直実先生をお迎えし、『臨床現場に必要な臨床研究の知識』をテーマにピロリ菌と胃がんの関係、また、除菌治療の有用性や除菌後の影響などについてご講演いただきました。

ピロリ菌を除菌することによりスキルス性胃がんの予防につながり、ピロリ菌検査並びに除菌をす

理事室  
東 裕子



ることが重要であると認識したセミナーとなりました。





## 好生館シンポジウムを開催します

このたび好生館におきましては、地域医療の在り方と将来像について考えるシンポジウムを開催することとなりました。

このシンポジウムでは、お二人の講師をお招きし、医療の現状と近未来の社会の趨勢を見据え、何が地域医療に必要なかを論じていただく予定です。皆様のご参加をお待ちしています。

- 開催日時 平成31年2月8日(金) 19:00～21:00
- 会場 佐賀メディカルセンター 城内記念ホール(旧好生館跡地)
- 講師 産業医科大学医学部 公衆衛生学教授 松田 晋哉先生  
社会医療法人社団陽正会 理事長 寺岡 暉先生
- 申込方法 お申し込みは、FAX又は電子メールで受け付けています。  
詳しくは、下記までご連絡ください。
- お問い合わせ先 佐賀県医療センター好生館  
好生館シンポジウム事務局  
TEL:0952-28-1195(平日8:30～17:15)  
E-mail:koseikan-sympo@koseikan.jp



### お答えします! 皆様の声

皆様からいただいたご意見と、それに対する当館の回答をご紹介します。  
貴重なご意見ありがとうございます!



患者 A さん

屋上庭園は土日も開けてほしいです。  
入院していると、時々外の空気を吸いたくなります。

3階屋上庭園については、これまで休日は閉鎖しておりましたが、9月より土日、祝日も開放することにいたしました。  
開放時間は、夏季(5月～10月)10時～17時、冬季(11月～4月)10時～16時となっております。患者さんの安全対策として、監視カメラと緊急呼出ボタンを2か所に設置いたしております。  
是非ご利用ください。



総務課



見舞客 B さん

お見舞いに花束を持っていきたいのですが、  
生花を持ち込んでも大丈夫でしょうか。

緩和ケア病棟以外への生花の持ち込みはご遠慮ください。  
生花には、感染症の原因となる病原微生物が付着している場合があるからです。  
ご了承くださいませようお願いいたします。



総務課

# 外来医師一覽表

(平成31年1月1日現在)

※都合により不在または変更になる場合がありますので、該当科にご確認ください。電話：0952-24-2171

診療時間は原則として、月～金曜日の9時～13時です。(受付時間は8時30分～11時) 土・日曜、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は休診です。

なお、当館では、原則として予約がなく前回の受診から6ヵ月以上過ぎている場合は、初診扱いとなります。

区 分		月	火	水	木	金	
内 科	総合内科	新患 再来	松石 英城	松石 英城	松石 英城	松石 英城	松石 英城
	呼吸器内科	新患 再来 専門外来	担当医 久保田 未央	担当医 加藤 剛	休 診 岩永 健太郎/小宮 奈津子	担当医 加藤 剛	担当医 岩永 健太郎/久保田 未央
	肝胆膵内科	新患	中下 俊哉/村山 賢一郎	古賀 風太	大座 紀子/中下 俊哉	大座 紀子/村山 賢一郎	古賀 風太/野下 祥太郎
	消化器内科	新患 再来	島村 拓弥 富永 直之	富永 直之 緒方 伸一	富永 直之	鶴田 紗奈江 高良 吉迪	高良 吉迪 島村 拓弥
		ピロリ外来(完全予約制)	—	—	—	富永 直之(午前)	—
	血液内科	新患 再来	飯野 忠史 近藤 誠司/岡本 翔	岡本 翔 権藤 久司/久富 崇	久富 崇 近藤 誠司/飯野 忠史	近藤 誠司 久富 崇/修補後追加外来(午後)	飯野 忠史 権藤 久司
		腎臓内科	松本 圭一郎	中村 恵	—	松本 圭一郎	中村 恵
	糖尿病代謝内科	吉村 達	吉村 達/江頭 絵里奈	江頭 絵里奈	吉村 達/江頭 絵里奈	—	—
	腫瘍内科	コンサルト(予約制)	嬉野 紀夫	—	嬉野 紀夫	—	嬉野 紀夫
		再 来	嬉野 紀夫/原田 陽平	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫
	感染症(予約・紹介)	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美
	膠原病・リウマチ (14:00～16:00)	—	(第2・第4 金曜日) (毎週 金曜日)				多田 芳史 小野 伸之
	消化管内視鏡 (責任者)	緒方 伸一	中下 俊哉	緒方 伸一	富永 直之	緒方 伸一	緒方 伸一
	気管支鏡	加藤 剛	—	小宮 奈津子	久保田 未央	—	—
	腹部エコー	大座 紀子 古賀 風太	*大座 紀子/ *村山 賢一郎 (*隔週交代)	古賀 風太 村山 賢一郎	中下 俊哉	中下 俊哉 大座 紀子	中下 俊哉 大座 紀子
	透 析	中村 恵	松本 圭一郎	中村 恵・松本 圭一郎	中村 恵	松本 圭一郎	松本 圭一郎
	小 児 科	午 前 (専門外来については小児科外来に お問い合わせください)	—	神経外来(当館医師) 内分泌外来	循環器外来	—	血液外来
		午 後 (完全予約制)	アレルギー外来(第1・第3) 乳児健診 予防接種	神経外来(当館医師) 神経外来(医大医師 第2・4) 内分泌外来/予防接種	循環器外来/内分泌外来 予防接種 代謝・内分泌外来(第2・4)	1ヶ月健診 腎臓外来(第1・3)	アレルギー外来 心身症外来 血液外来
	循環器内科	午 前 (不整脈外来 完全予約制/新患 は水曜午前のみ)	江島 健一 中城 総一	吉田 敬規 中村 郁子	江島 健一 柿野 貴盛	中村 郁子 吉田 敬規	中城 総一 三上 剛
		午 前 後	本田 修浩	—	(新患)担当医 (紹介)担当医	—	本田 修浩
ペースメーカー外来(午前・予約制)		—	—	担当 医	—	—	
午 後		検 査	心カテ	心カテ(午前・午後)	—	検 査	
精 神 科	午 前(完全予約制) 再診 月～金 8:30～12:00	石井 博修 角南 隆史	角南 隆史	石井 博修 角南 隆史	石井 博修 角南 隆史	石井 博修 角南 隆史	
	午 後	各病棟(精神科コンサルテーション・リエゾン)					
放射線科	放 射 線 診 断 ・ I V R	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 岡本 大佑他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 岡本 大佑他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 岡本 大佑他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 岡本 大佑他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 岡本 大佑他	
	放 射 線 治 療	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	
脳神経内 科	午 前 新患/再来	高島 洋	高島 洋	上床 希久	上床 希久	高島 洋	
	午 後 専門外来 (完全予約制)	もの忘れ外来 — パーキンソン病外来 —	— — —	高島 洋 — —	— — 高島 洋	— — —	
脳血管内科	午 前	上床 武史	杉森 宏	大屋 祐一郎	上床 武史/橋本 剛	杉森 宏	
緩和ケア科	午 前(再診) 午 後(新患)	—	小杉 寿文 久保 麻悠子	—	小杉 寿文/久保 麻悠子 弓場 智子	—	
禁煙外来	午 後	—	久保田 未央/小宮 奈津子(14:30～16:30)	担 当 医	寺崎 泰宏(14:30～16:30)	—	
外 科	消化器外科	新患	田中 聡也	平木 将紹	奥山 桂一郎	池田 貯	中村 聡也/佐藤 清治
		再来	田中 聡也	平木 将紹/山田 浩平	池田 貯/佐藤 清治	奥山 桂一郎	田中 聡也/佐藤 清治
	肝胆膵外科	新患	三好 篤	北原 賢二	三好 篤	中村 覚庸	北原 賢二
		再来	—	—	—	—	—
	乳腺外科	新患	—	手 術	白羽根 健吾/服部 正見	手 術	白羽根 健吾/服部 正見
		再来	—	—	—	—	—
呼吸器外科	新患	—	寺崎 泰宏	手 術	宮本 詩子	手 術	
	再来	手 術	寺崎 泰宏/宮本 詩子/岡本 祐介	—	寺崎 泰宏/宮本 詩子/岡本 祐介	手 術	
小児外科	新患	村守 克己	手 術	当 番 医	福田 篤久	手 術	
	再来	福田 篤久	—	—	村守 克己	—	
眼 科	午 前	手 術	手 術	手 術	手 術	手 術	
	午 後	検 査	佐々 由季生 坂井 摩耶	検 査	佐々 由季生 坂井 摩耶	佐々 由季生 坂井 摩耶	
産婦人科	午 前	婦人科 産科	金井 督之/八並 直子 室 雅巳/御厨 紀子	安永 牧生/大隈 香奈 室 雅巳/神下 優	安永 牧生/神下 優 大隈 香奈/金井 督之	安永 牧生/神下 優 大隈 香奈/金井 督之	
	午 後	婦人科(紹介・予約) 産科(紹介)	手術日(急患のみ担当者) 室 雅巳	金井 督之 室 雅巳	手術日 (急患のみ担当者) 八並 直子 室 雅巳	手術日 (急患のみ担当者)	
	(14:00～16:00)	午後の診療枠は紹介状のある新患あるいは予約のある再来患者のみです。					
耳 鼻 いんこう科	午 前	手 術	宮崎 純二/宮崎 俊一 川崎 佳奈子	手 術	宮崎 純二/宮崎 俊一 川崎 佳奈子	宮崎 純二/宮崎 俊一 川崎 佳奈子	
	午 後	—	回 診・検 査	—	回 診・検 査	回 診・検 査	
泌尿器科	午 前	徳田 倫章/諸隈 太 辻田 次郎/山下 拓也	徳田 倫章/諸隈 太 山下 拓也/宮崎 真優	手 術	徳田 倫章/諸隈 太 辻田 次郎/山下 拓也	手 術	
	専門外来	腎移植	腎移植	—	腎移植	—	
歯科口腔 外 科	午 前・午 後	野口 信宏 諸隈 文秀	野口 信宏 諸隈 文秀	野口 信宏 諸隈 文秀	野口 信宏 諸隈 文秀	野口 信宏 諸隈 文秀	
形成外科	午 前	原田 慶美	手 術	回 診	手 術	竹内 千洋	
	午 後	外 来 手 術	—	フットケア外来	—	外 来 手 術	
皮 膚 科	—	—	—	—	—	—	
	一般整形 脊 椎	前 隆男/塚本 伸章 岡 和 一朗/木田 麗真 加藤 剛	手 術	前 隆男/小宮 紀宏 松尾 拓 加藤 剛/馬場 覚	手 術	塚本 伸章/小宮 紀宏 岡 和 一朗 馬場 覚	
脳神経外 科	午 前	松本 健一	高口 素史	坂田 修治	手 術	溝上 泰一朗	
	午後 専門外来	予約のみ (水頭症外来)坂田 修治	—	—	—	—	
心臓血管 外 科	午 前	手 術	内藤 光三 里 学	手 術	川崎 裕満 里 学	手 術	
	午 後	—	回 診	—	回 診	—	
人 間 ドック	—	林田 潔 高島 洋	井之口 香映子 坂田 修治	権藤 久司 杉森 宏	権藤 久司 上床 武史	井之口 香映子 高島 洋	
	心臓ドック	—	—	—	江島 健一	—	
看護専門外来	完全予約制	江口 忍	江口 忍	江口 忍	江口 忍	江口 忍	